

# 国道144号鳴岩橋（孺恋村）の災害復旧 ～権限代行事業の概要と取り組みついて～

寺島 憲一郎

関東地方整備局 高崎河川国道事務所 計画課 (〒370-0841 群馬県高崎市栄町6-41)

国道144号は、群馬県吾妻郡長野原町を起点とし、群馬県吾妻郡孺恋村を經由して長野県上田市に至る延長44kmの一般国道である。国道145号、国道18号に東西で接続し、群馬・長野県との連携・交流が促進されるとともに、産業・経済の発展や観光交流の拡大に寄与する道路である。本稿では、2019年10月12日（土）に令和元年東日本台風により被災した、国道144号鳴岩橋の災害復旧について報告する。

キーワード 災害復旧

## 1. はじめに

2019年10月12日（土）令和元年東日本台風により、国道144号鳴岩橋が落橋し、その周辺道路も被害を受け、全面通行止めとなりました。これを受け、国道144号鳴岩橋については、国が県に代わり代行して復旧工事を行うこととなり、11月8日（金）から現地着手し、復旧工事を進めてきたところです。



図1 孺恋村 鳴岩橋 位置図



図2 孺恋村 鳴岩橋 広域図

## 2. 令和元年東日本台風における豪雨について

「令和元年東日本台風」では、台風の影響で西日本から東日本を中心に広い範囲で記録的な大雨となり、各地で甚大な被害が発生しました。孺恋村においても10月11日昼から断続的に雨が降り、12日未明から朝にかけて山間地周辺を中心に一時激しい雨が降りました。12日の午前9時頃から急激に雨量が増えて、孺恋村に設置されている田代観測所において、時間雨量43.5mm<sup>注1)</sup>を最大に、24時間で408mm<sup>注1)</sup>を記録するなど、これまでに経験したことのない記録的な大雨となりました。そのため、村内の各地で家屋への浸水、土砂崩れ等が発生し、全壊5棟、半壊5棟、床上浸水3棟、床下浸水9棟の被害<sup>注2)</sup>の他、県では農地・農業・林業用施設で約23億円<sup>注3)</sup>の被害に加え、道路や河川等の公共土木施設では約310億円<sup>注3)</sup>と特に大きな被害を受けました。

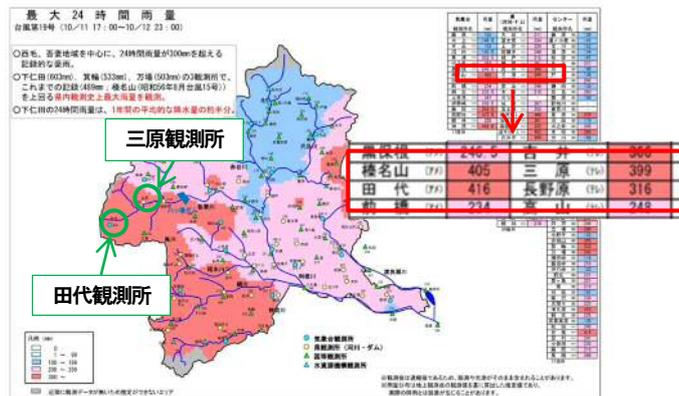


図3 群馬県の令和元年東日本台風雨量速報値

### 3. 国道144号の被害の概要

国道144号は、群馬県吾妻郡長野原町を起点とし、群馬県吾妻郡嬭恋村を經由して長野県上田市に至る延長44kmの一般国道です。国道145号、国道18号に東西で接続し、群馬・長野県との連携・交流が促進されるとともに、産業・経済の発展や観光交流の拡大に寄与する道路です。



図4 位置図・被災状況

### 4. 国道144号の被害状況及び、応急対策について

#### 4.1 国道144号鳴岩橋の被災状況

関東地方整備局では、「大規模災害からの復興に関する法律」における「非常災害」に指定されたことを受け、早急な、復旧方法の検討を行うため、10月29日（火）に群馬県中之条土木事務所、嬭恋村建設課と現地調査を実施しました。



写真1 被災前



写真2 被災後

鳴岩橋の橋台流出による落橋、及び鳴岩橋周辺の約320mの道路が崩壊しており、被災状況や災害発生の経緯を確認するとともに、高崎河川国道事務所所有のドローンを用いて周辺の被災状況の確認や把握を行い、被害の全貌が明らかになりました。

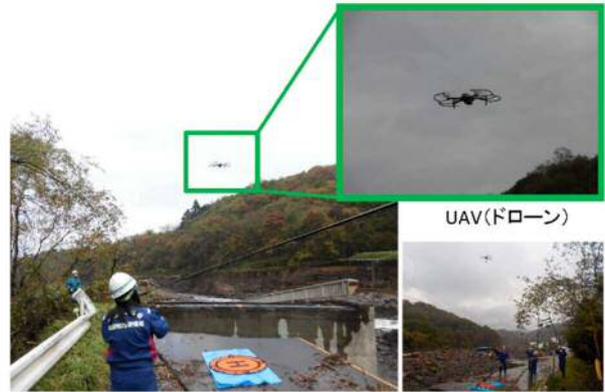


写真3 現地調査状況 (10月29日)

#### 4.2 応急対策

令和元年東日本台風に伴って、群馬県嬭恋村大笹地先では、一級河川吾妻川の出水により、国道144号では鳴岩橋の崩落や道路の崩壊が発生しており、早急な災害復旧が急務になっていました。早急に、復旧方法の検討を行うため、10月30日（水）関係者である群馬県、嬭恋村、関東地方整備局（高崎河川国道事務所、利根川水系砂防事務所）と建設コンサルタント会社が出席し、鳴岩橋付近の被災状況を確認しながら、今後の復旧方法等について議論しました。

令和元年東日本台風により、被災した国道144号鳴岩橋の復旧工事について、11月13日（水）に嬭恋村（吾妻川・国道144号）復旧連絡調整会議（第1回）を開催し、関係者である群馬県、嬭恋村、関東地方整備局（高崎河川国道事務所、利根川水系砂防事務所）より、それぞれ復旧工事の状況や今後の進め方などの説明を行い、早期に復旧事業を進めるための方策が共有されました。



写真4 復旧連絡調整会議状況

国道144号鳴岩橋の迂回路については、仮橋により計画しているが、一日も早い交通（一般及び災害復旧車両）の確保が求められることから、盛土形式の緊急迂回路も設置して一日も早い開通を目指して作業を進めました。



写真5 復旧計画

## 5. 緊急迂回路の開通について

12月26日（水）14時に緊急迂回路が開通しました。これにより、長井川原地区から嬭恋村中心部へ向かう場合に必要だった大きな迂回は解消されることから、地域の利便性の回復が図られるとともに、群馬県が進める復旧工事の導線が確保されたことにより、工事の進捗が加速することとなりました。



図5 位置図



写真6 緊急迂回路全景

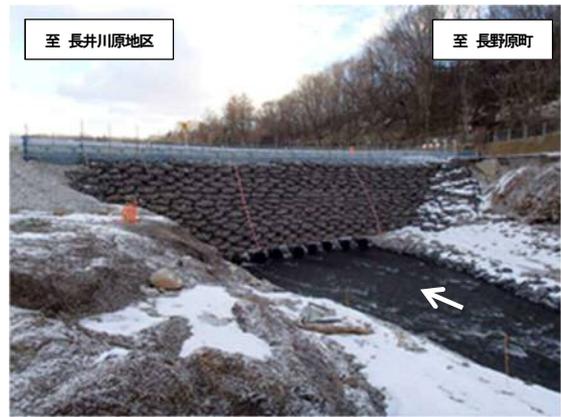


写真7 緊急迂回路渡河部の盛土状況

## 6. 迂回路（仮橋）の設置について

仮橋による迂回路を渇水期中の完成を目処に進めています。

## 7. 今後の取り組みについて

事業を担当する高崎河川国道事務所に「嬭恋緊急道路防災対策出張所」を設置して、群馬県吾妻郡嬭恋村における、吾妻川の多量の土砂移動や河岸侵食、国道144号鳴岩橋の落橋などの被害について、今後の本格的な災害復旧工事を迅速かつ効率的に進めていきます。

## 8. おわりに

令和元年東日本台風によって甚大な被害を受けた国道144号鳴岩橋では、大規模災害からの復興に関する法律に基づく道路の直轄権限代行による災害復旧事業に着手しました。

迅速な災害復旧工事などにおいては、高度な技術力が必要となることから、道路・砂防などに特化した集団が対応することが有効です。

資機材の搬入路、工事用道路については、これまでも連絡を取り合いながら相互に使用しているが、復旧工事の本格化が見込まれるため、これまで以上に関係者間で、情報共有と調整を図っていく必要があり、引き続き、関係機関が緊密な連携を図り、事業を推進していくことが重要です。

注1) 気象庁IPより  
 注2) 広報つまごいより  
 注3) 朝日新聞2019/10/31より